

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	在来下水対策事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	3	3	12	5	5,100
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・橋南地区、橋北地区の排水不良地区内戸数。	・対象戸数:戸	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了した年度とする
			3020	3020		
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
・在来下水の不良箇所を補修することにより、大雨や台風の被害を最小限にとどめる。	・単年度整備済対象戸数:戸	18目標	40	最終目標		
		18実績	40	19目標	40	↑
		23目標	40	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・従来から橋南地区、橋北地区に布設されている在来下水管の老朽化により不具合が生じているため、機能回復を図るべく早期に整備を進める。	・橋南地区、橋北地区一帯の在来下水の整備	施工延長:m	120m
18年度の実績		・橋南地区、橋北地区一帯の在来下水の整備	施工延長:m	130m程度
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金	0	0
	特定財源	0	0
	起債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	5,000	5,100
	事業費計(A)	5,000	5,100
人件費	正規職員所要時間	18年度 200	19年度 200
	臨時職員等所要時間	0	0
	人件費計(B)	715	715
	トータルコストA+B	5,715	5,815

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する。	市民が災害にそなえている割合	現状値	40.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
	火災発生件数		現状値	63	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	50	

この事業を開始したきっかけ ・橋南地区、橋北地区一帯に、大火前からあった在来水路の老朽化が激しいため、機能回復を図る。	事業を取り巻く状況の変化 ・年次計画で工事を行っているが、大火前から有る水路なので大変古く、老朽化が進んでいる。	事業に対する市民や議会の意見 ・災害等に対する事前防衛のため、市民の要望も強い。
--	---	---

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) ・市民生活の安全性の向上を図る。	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) ・他事業との合併施工や工法の検討により施工箇所及び施工延長の増加。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) ・市民生活の安全性の向上を図るため、見直しの必要なし。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) ・上流の開発等により、大雨や台風時には短時間に増水することから床上・床下浸水の被害が増大する。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) ・老朽化が年々進行しているため、計画的に施工することが必要。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) ・管理責任は飯田市である。		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) ・工法の検討によりコスト削減を図る。
		公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) ・橋南地区、橋北地区の市民と、下流域の市民。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 ・他事業(下水道・水道等)との連携を密にして経費を減額したい。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	・在来下水は数十年前の配管であり、配管位置の特定が出来ない。 ・他事業者との連携をさらに密にして、適時対応を図りたい。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	